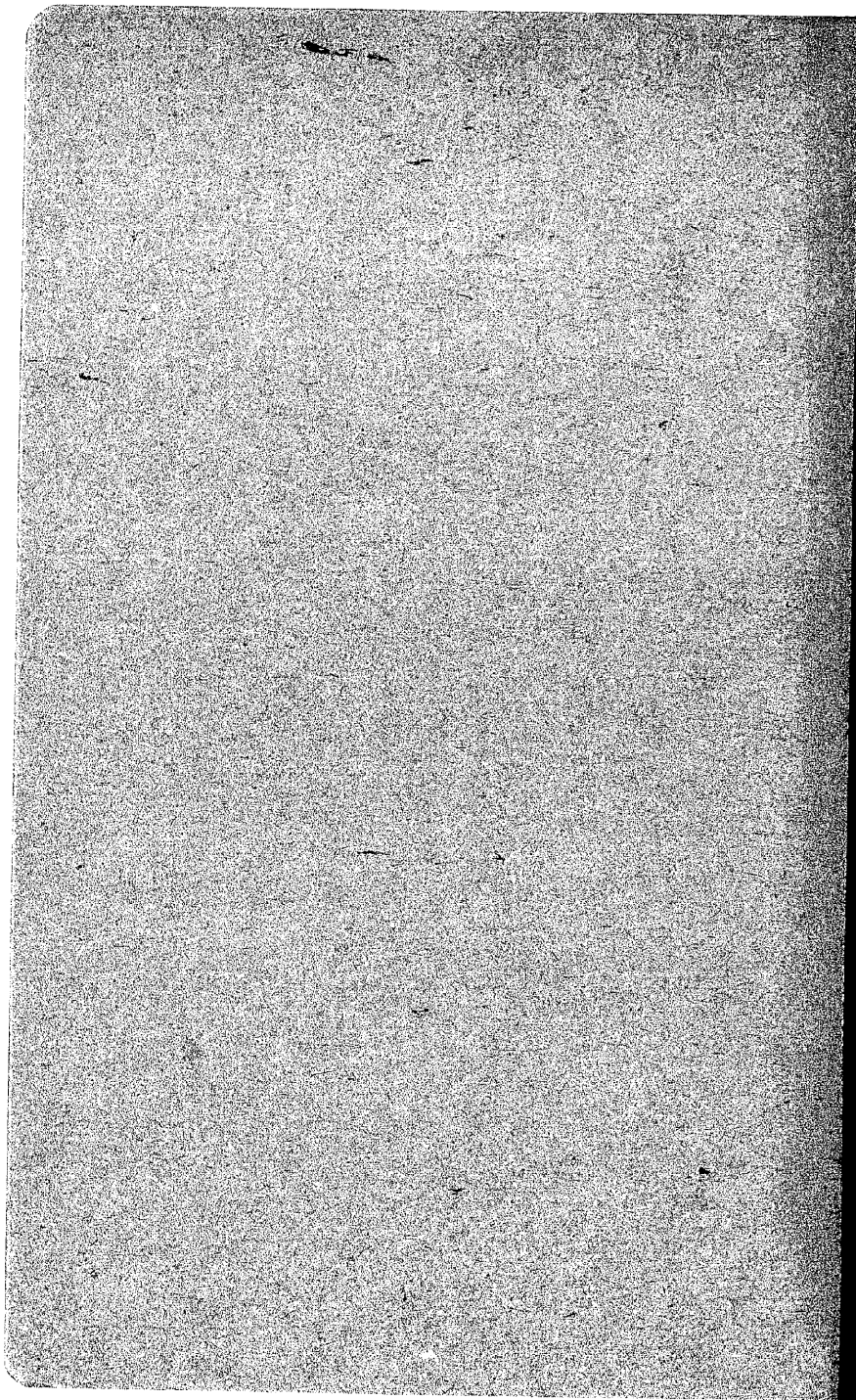


凶荒予備の儀に付諭告

1885年6月



1197
4



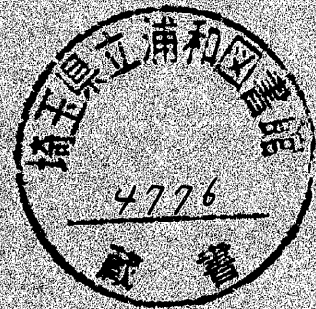
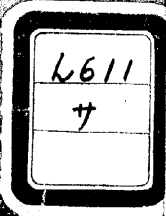
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

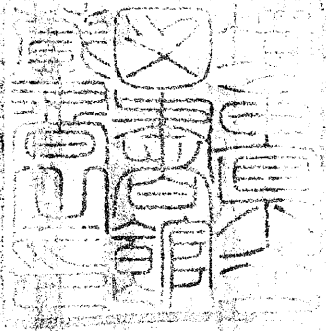
勸
凶荒豫備ノ儀ニ付テハ明治十二年一月十二日及同年十二月廿五日付
ヲ以テ再度諭告及置候趣モ有之候エトモ近來各地菜色ヲ呈シ且本年
氣候不順作毛如何懸念不少候條專ラ勤儉貯蓄ヲ主トシ不虞ノ災厄ニ
陥ラサル様勉勵致スヘシ別紙趣意書相添ヘ此旨更ニ諭達候事

明治十八年六月十日

埼玉縣令吉田清英代理

埼玉縣大書記官笹田默介





趣意書

飢歲ハ天地の變にして何時あるべきことか前方より得て知るべきよ
あらざれども凡う三三十年より四五十年の間ハ必らき環り來れる
ものよし古へより史乘にも載せ雜説にも言ひ傳へり是れ自然の數
よして免かるべからざるなり時に近頃氣候の不順なる就中本年春以
來寒暖其序を失ひ各地植物の景況を探究するよ麥ハ例年よりも凡う
十分の四を減じ茶も亦殆ど十分の五と減ざるが如しと言へり縣下の
實況も概ね是れと大同小異なり殊よ稻苗の生育も甚はだ宜しからき
豐凶如何と痛く憂慮を懷く所なり試みに凶荒の年度と既往よ徴する
に其循環果して三十年内外若くハ五十年前後よわり即ち別紙飢歲年

歴一目表の如し今年天保八年の凶荒と距る實は四十九年にして氣候の不順なること猶ほ斯の如し是れ或は其兆候は非ざるなきを保し難し恐れざるべけんや慎しまざるべけんや好し幸ひにして凶荒なきも亦決して違作の歎きなき能はざるを怖るゝなり況や農商工所として不景況を訴へざるなく不融通を告げざるものなきをや今よりありて凶荒の準備を爲さざれば噬臍の患と免かれざらんも豫じめ計るべからざ蓋し聞く飢饉の襲ひ來ることは凡る五六年前より其兆しを呈はすもの、よし例へば二三年打續き乃至隔年氣候不順にして作物の實り惡しく或は諸所に疫癘など流行し其翌年は氣候も平順案外豊稔にして僅かに人々をして安息せしむるが如しと見て在れば又翌年は偏旱

偏雨等よて旱澇など不慮の事ありて闕損を告げ來年はと思ひの外又々冷熱常ならざして豊作の喜聲を聞かき終に其翌年は大凶作に際會すと言ふが如き序次なるものなりと或は然らん茲に昨十七年に遡り縣内氣候如何ありしと考へ察るよ三伏の夏の最中も炎暑に耐へ難きなど言ひしこと又聽しことは絶えて覺へざりしも夫に引換へ仲冬以來寒威の凜冽なりしは五六十年來未だ曾て非ざる所なりと古老の人の喋々せし所よして其言音は定めて衆庶の眼底に遺り居るなるべし而して該年九月十五日及十八日再度の颶風猛雨に値ひ植物凡て違作なりしも亦た必だ稠衆の心目に存する所なるべし尋で本年季候の順ならざるは猶今日の如し此に因りて之を惟へば早晚凶年の來るあら

んと恟々として止まざる所なり將又饑歲の先蹤其慘狀と舊記に聞れば
餓草地の満ち屍は飢鴉其鼻目を啄はみ瘠犬其骨肉を舐るも門と戸
と飢渴と通り食と求むるの一途に踴躍するの折柄と言ひ其屍の多き
之を蔽ふと違あらんや况や其身も聽て鴉のつゝばみ犬のねぶる所と
ならんかと怖るゝの時に於て處々阡陌屍の抛棄に附しあるも誰れか
之を怪しむ者なく臭氣街頭に盈ち飢聲門閭は諱しく實は目も當られ
ぬ有様なりしと嗚呼物語りするも毛髮悚然として寒を覺ゆ然れども
明治の御代となりては昔日封建の有様とは異なる所あるべけれども
家に儲蓄なくして不虞の窮を救ふことの難きは仍ほ同一の事なるべ
し諺に云はく備へざる者は患ひなしと左れば貴賤となく貧富となく

夫と身の分限は應る貯蓄の法と設けて身を守るより先なることある
なし宜しく永世自保の策を立つべし事冗長は属すれども尙一言す
る所あらんとす夫れ曩は豐穰の年を累ね加ふるに明治十三四年の交
にありて米價格外は騰貴し農家未曾有の殷阜と致せしより金融の流
通おのづから圓滑なりし故に其影響延ひて商工も及ぼし齊しく繁盛
を極めたりし此時は方りては農は商に工に力と勞するの少なくして
利を収むるの多きこと前代未聞の有様なりき當時の情態を敷衍せん
は前陳の如く各自僥倖の利に安んじ靡然勤勞節儉の良風と失ひ奢侈
懶惰の惡弊と生ぜしは似たり然るは十五年以來米價漸やく低落し農
家は収支相償はざるを憾み商業も亦不活潑にして竟は一般不融通を

來し最下の細民往々菜色と呈するに至る是れ必竟昔日僥倖の利は安んじ不虞は備ふるの計をなさざりし偷安苟且の結果と言はざるべからずして又怪むに足らざるなり夫れ備へなき時の凶年飢歲にあらざる今日すら猶斯のごとく況や飢饉の臻るは値はゞ其悲み如何ぞや實は寢食を安んぜざる所なり今よ於て勤勞節儉の良風を復興し奢侈懶惰の惡習を洗滌して儲蓄自保の計畫を爲さんば將來如何なる凶歲に逢ひ如何なる悲慘に陥らんも亦知るべからず然れば餘裕ある者は冗費を省きて蓄積し餘裕なくして蓄積し能はざる者は一層力を勞働し致し其勞働の餘力に生ざるものと以て之を充んことを勉むべし譬へば農家平素朝六時より夕六時まで勞働し服せし者は宜しく時

間を延ばして或は四時より八時までとし従前年に三度取りし田草をば五度も六度も取除き是迄棄てゝ顧りみざりし塵芥も堆積鬱蒸せしめて肥料の補ひは供するが如く一渾て人力を以て不氣候の損害を補ひなば其糧量を助くることを得るなるべし而して耕稼の外男は或は繩を紉ひ筵と編み草鞋を造り女は綿を繰り絲を撚り布と織るの類を以て戸主も家族も舉家一致して日夜倦怠なく應分の餘業を修め商も工も亦各本業の外適宜力行し空しく時日を徒費するが如き弊習を去て一心不亂貯蓄の一途に傾向し右の餘業又ハ定時間外の勞力より生ずるものと積蓄は充るとせば謂ゆる塵も積れば山となるの諺のごとく知らず識らば其金額ハ相應の炭と成しまさかの時の用は立つべし

試みよ縣下の人口九十九万八千七百三十七人の内十五歳以下六十歳以上の幼老ハ力役し能ハざる者として暫らくこれを除き五十六万七千四百八十五人の男女とも假りに是まで毎日十時間つゝ、就業せしものとし其力役賃男ハ一日金貳拾錢女ハ一日金拾貳錢宛と做してこれを十時間よ除すれば即ち男ハ一時間金壹錢女ハ一時間金壹錢貳厘に當れりこの割合の通りよもなるまじけれど右の十時間と朝暮にて二時間と増して力行する時ハとりも直さば毎日男ハ金四錢女ハ金貳錢四厘宛の増賃錢と收め得らるゝ道理よして全縣一日の増賃錢は金壹万八千百六拾九圓九拾貳錢となること別紙力役増時間賃金一覽表の如し斯の如きものなれば各餘業を修めて其餘業に得る所の幾分と積

み貯ふべし今假りよ毎日一人に付き金貳厘宛を積むとせば大約一ヶ月金三万五千百八拾四圓七錢にして一ヶ年の元金四拾壹万六千二百拾壹圓五拾三錢四厘これよ積立翌月より年四分八厘の利足を加ふる時ハ其初年の利金七千七拾貳圓二拾貳錢八厘にして初年の元利金四拾貳万三千二百八拾三圓八拾六錢貳厘となり滿二年目よハ金百七万四千八百拾壹圓七錢四厘となり滿五年目よハ金三百八拾五万四千七百九拾五圓七拾五錢六厘となり滿十年目よハ金九百四拾六万四千五百貳拾三圓七拾六錢八厘となる道理にして即ち別紙蓄積金利倍表の如くなり六拾万餘の人員をして一日一人金貳厘宛を貯ハへしあるも猶此の如し夫れ斯の如く備はりたらんには縦令凶年の瘠るよ遇ふも

遠近を問はず何れの國よりも米穀を買入れらるべし已むなくんば外
國米なりとも便宜輸入するを得べくして饑饉の悲惨は必き免かる、
事と得べきなり然れども其事の思ひおもひとなりては纏まりかぬる
ものなれば冀くハ素封者ハ勿論名望者は稠衆のためは率先者となり
各町村限り若くは數町村と通聯して便宜組合と締結し毎組合蓄積の
良法と設け豫じめ不虞に備ふるの計とをなし及び勞働勤儉の節度
を定むる等其規約と堅め家系と永遠に傳へんとを古人言はざや人生
勤むるよあり勤れば則ち乏しからざと夫れ然り豈深く勤儉貯蓄に注
意せざるべけんや人庶此旨と了し果して能く之を實行したらんには
凶荒も其虐と逞しふすると能はざるべし今日の場合よ於て豫じめ備

ふるの方法此を措て外は妙計あることなし衆夫れ旃を胆めよ

明治十八年六月

力役増時間賃金一覽表

郡名	老壯幼無區別		六十歲以上		十五歲以下	
	合人員	男	女	合人員	男	女
北足立	一六二、九五三	八〇、〇二四	八二、九二五	一四、五三二	六、七四四	七、七八七
新座	二二、四一九	一〇、五八〇	一〇、八三九	一、七七四	八三六	九三八
入間	一六、六二〇	六二、六九八	六三、九二二	一、九五〇	五、六六九	六、六八一
高麗	三九、七四三	一九、七四三	二〇、〇〇一	四、〇七五	一、九三六	二、一三九
比企	六四、六一三	三三、二一九	三三、三五四	五、九四八	二、九〇八	三、〇四〇
横見	二二、四八三	六三、七八七	六二、九六六	一、〇五一	五三二	五五五
秩父	六七、二五四	三四、二四八	三三、〇〇六	七、九四九	三、九四二	四、〇〇七
兒玉	一五、二二〇	一四、五七〇	一四、六四〇	二、七二五	一、二九七	一、四二八
賀美	二二、〇五九	六、〇二二	六、〇四八	一、二二九	五四八	五八一
那珂	六、八四四	三、四八四	三、三六〇	六九二	三四二	三五〇
大里	二六、八八三	一三、四八六	一三、三五七	二、二九二	一、〇六八	一、二二四
旌羅	三三、〇三四	一五、三三二	一五、七〇三	二、五三八	一、一四七	一、三九一
榛澤	四、一〇六	二〇、四八四	二〇、七三三	三、五四二	一、六五〇	一、八九二
男衾	三三、〇九二	六、五四一	六、五五二	一、三〇〇	六五一	六四九
北埼玉	一三七、一七七	六八、四〇九	六八、七六八	一〇、八八二	五、一六〇	五、七二二
南埼玉	一一三、一三七	六〇、〇八七	六一、九五〇	一〇、九八七	五、一〇四	五、八八三
北葛飾	七〇、四八二	三三、七七〇	三五、七二二	五、八一〇	二、六七七	三、一三三
中葛飾	一三、四四八	六、六五一	六、七九七	一、二七一	五五二	六一九
計	九八八、七三七	四九五、八二二	五〇二、九二五	九〇、三四六	四二、八〇三	四七、五四三

此一覽表ハ縣内人口九十九万八千七百三十七人ノ内十五歲以下ノ男女ハ幼老ニシテ力役シ能ハサルモノト假定シテ暫ク之ヲ除キ十五歲以上トシ此力役者從前日課ノ事業ニ服スル蓋シ十時間ト假ニ乗率ヲ立テ面ハ一時間金貳錢女ハ同壹錢貳厘宛ノ賃金ニ當リ關縣一日ノ合賃金九万々金四錢女ハ同金貳錢四厘宛ノ増賃ヲ収メ得ラル、道理ニシテ其増賃ヘ易クシテ行ヒ難キモノナレハ斯ノ如ク努力時間ヲ増シテ其勞ニ生スク知ラス知ラス不虞ノ備ヘテ爲シ得ラルヘキナリ依リテ試ミコ之ヲ製

明治十八年六月

覽表

○此表ノ人口ハ明治十八年一月一日ノ現在ニ依

歳以下	力		役者		賃		金							
	男	女	合人員	男	女	合	男ノ賃	女ノ賃	合	男ノ賃	女ノ賃	合	男ノ賃	女ノ賃
一六八、六二四	一七二、八二二	五、六七四	二、八四三	二、八三二	九〇、八四九	五、六八七	三、三九七	一、〇九〇	六、八二五	四、〇七六	一、八一九	二、四五一	一、一六九	一、二三五
二、一七五	二、一三七	七、六六五	三、八二四	三、八四一	一、二二五	七、六四八	四、六〇九	一、四七〇	九、一七六	六、〇七九	三、〇九七	二、四五一	一、一六九	一、二三五
二、一〇二	二、一七五	四、〇二八	一、九九九	二、〇二七	六、四二五	三、九八八	二、四二七	七、七〇一	八、四七五	五、〇八八	三、三八七	二、四五一	一、一六九	一、二三五
一九、九六三	二〇、七六六	七、〇五一	三、五二〇	三、五二九	一一、七八八	七、〇四〇	四、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
二、四〇〇	二、四三三	七、七六六	三、九二四	三、八五二	一一、二七二	七、八四九	四、六三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
二、〇四一	二、〇九〇	七、五四二	三、八四九	三、六九三	一一、二七二	七、八四九	四、六三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
七、四一三	七、〇三〇	二、三〇二	一、四二二	一、〇〇〇	二、七四六	一、七〇〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
五、六三三	五、九六九	一、七二八	八、五五二	八、六三三	二、七四六	一、七〇〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
四、五二五	四、五一九	一、五五七	七、八九三	七、六五四	二、四九七	一、五八〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
二、一八八	二、一七三	三、七六一	一、九二四	一、八三七	六、〇五二	三、八四八	二、〇四四	七、〇六八	七、〇六八	七、〇六八	七、〇六八	七、〇六八	七、〇六八	七、〇六八
二、〇八八	二、一五四	六、六八八	三、三二五	三、三三三	一、〇七二	六、七五〇	三、九七五	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
四、七二七	四、七〇〇	一、七〇六	八、五五二	八、五二二	二、七三三	一、七〇〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
一〇、一〇四	九、九六七	三、九三三	二、〇二〇	一、九三三	六、三〇四	四、〇二〇	二、二八三	四、〇二〇	四、〇二〇	四、〇二〇	四、〇二〇	四、〇二〇	四、〇二〇	四、〇二〇
一、四一四	二、一五三	六、一三三	三、六一九	三、五三三	一、一四二	七、三三〇	四、二五六	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
一〇、九九三	一一、一三七	三、六三三	一、八三三	一、八〇七	五、八二八	三、六三三	二、一六四	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
六、七二六	六、七〇八	二、三三三	一、二〇八	一、一五五	三、五五四	二、一六〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
二、一七二	二、一〇〇	七、〇九三	三、五三三	三、五六二	一、一三三	七、〇三〇	四、二五六	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
三、五五四	三、七〇六	一、二三四	六、一五〇	六、一九五	一、九七三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
二、七二六	二、八七六	九、二三八	四、五五四	四、六四二	一、四七三	九、〇八〇	五、五七二	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三

歳以下ノ男女計三十四万九百六人及六十歳以上ノ男女計九万三千四百四十六人合計四十三万二千二百五十二
 キ十五歳以上六十歳以下ノ男女計五十六万七千四百八十五人ハ全ク强健ノ者ト看做シ之ヲ現在ノ力役
 乗率ヲ立テ而シテ男ハ一日金貳拾銭女ハ同金拾貳銭宛ノ賃金ヲ得ルモノトシ之ヲ十時間ニ除スレハ則
 ノ合賃金九万八百四拾九圓トナルノ力役者尙ホ此上力行時間ヲ毎朝暮コテ二時間宛ヲ増スルハ男ハ
 ヲシテ其賃賃一日ノ合計金壹万八千六百拾九圓七拾九銭六厘ノ巨額ヲ致スヘキナリ以爲ク儲蓄ノ事ハ
 ア其勞ニ生スルモノ、幾分ヲ無キモノトシテ積ミ置クヨウニシナハ謂ユル塵モ積レハ山トナルノ謔ノ
 試ミヨ之ヲ製セリ請フ看客該表ノ何タルヲ諒セ

埼玉縣勸業課編纂者識

○此表ノ人口ハ明治十八年一月一日ノ現在ニ依ル

者	賃				金				
	力役十時間ノ賃金		同上十二時間ノ賃金		二時間増ノ差金				
女	合	金	男ノ賃	女ノ賃	合	金	男ノ賃	女ノ賃	
四六四二六	一四七六一九〇	九一九〇八〇〇	五五七二二〇〇	一七七七四三〇〇	一一〇二八九六〇〇	六六八五三四四	二九五二三八四	一八三八二六〇	二二四二三四
六一九五	一、一七、七、四〇〇	一、三三〇、〇〇〇	七四三、四〇〇	二、三六八、〇八〇	一、四七六、〇〇〇	八九二、〇八〇	三、九四六、八〇〇	二四六、〇〇〇	一、四八六、八〇〇
三五九二二	一、一三、三、六、七〇〇	七、〇、〇、〇〇〇	四、一、七、四、五〇〇	一、三、六、〇、四、〇六四	八、四、七、四、六四〇	五、一、九、四、四〇〇	二、一、六、七、三、四四〇	一、四、一、二、四四〇	八、五、四、九、〇四〇
一一、一、五、四〇	三、五、五、四、四〇〇	二、二、二、六、〇〇〇	一、一、三、八、四、八〇〇	四、二、六、五、三、七六	二、六、五、九、二〇〇	一、六、〇、六、一、七六	七、一、〇、八、九六	四、四、三、二、〇〇〇	二、六、七、六、九六
一八〇七	五、八、二、八、二、四〇〇	三、六、六、三、八〇〇	二、一、六、四、四、四〇〇	六、九、九、三、八八八	四、三、九、六、五、六〇	二、五、九、七、三三八	一、一、六、五、六、四八	七、三、二、七、六〇	四、三、三、八、八八
三、三、五、三三	一、一、四、五、三、六〇〇	七、三、三、八、〇〇〇	四、二、一、五、六〇〇	一、三、七、四、四、三三	八、六、八、五、六〇	五、〇、五、八、七三	二、三、九、〇、七三	一、四、四、七、六〇	八、四、三、二、二
一九〇三三	六、三、〇、四、二、四〇〇	四、〇、二、〇、四、〇〇〇	二、二、八、三、八、四〇	七、五、六、五、〇八八	四、八、四、四、四八〇	二、七、四、〇、六〇八	一、二、六、〇、八、四八	八、〇、四、〇、八〇	四、五、六、七、七、八
八、五、二二	二、七、七、三、三、六〇〇	一、七、一、一、一、〇〇〇	一、〇、二、一、四、四〇〇	三、三、七、九、一、六八	二、〇、五、三、四、四〇	一、一、三、三、五、七、六	五、四、六、五、一八	三、四、三、一、四〇	二、〇、四、二、八八
三、三、三、三三	一、〇、七、二、五、六〇〇	六、七、五、〇、〇〇〇	三、九、七、五、六〇	一、二、八、七、〇、七三	八、一、〇、〇、〇〇〇	四、七、七、〇、七三	二、一、四、五、二二	一、三、五、〇、〇〇〇	七、九、五、二、二
一、八、三、七	六、〇、五、二、四〇〇	三、八、四、八、〇〇〇	二、二、〇、四、四〇〇	七、二、六、二、八八	四、六、一、七、六〇	二、六、四、五、一八	一、二、一、〇、四、八	七、六、九、六〇	四、四、〇、八、八
七、六、五、四	二、四、九、七、〇、八〇	一、五、七、八、六、〇〇	九、一、八、四、八〇	二、九、九、六、四、九六	一、八、九、四、三、三〇	一、一、〇、二、一、七、六	四、九、九、四、一六	三、三、五、七、二〇	一、八、三、六、九、六
八、六、三、三	二、七、四、六、三、六〇	一、七、一、〇、四、〇〇〇	一、〇、三、五、九、六〇	三、三、九、五、六、三三	二、〇、五、二、四、八〇	一、一、三、四、三、一、五	五、四、九、二、七三	三、四、二、〇、八〇	二、〇、七、一、九、二
一一、六、〇〇	三、六、七、六、三、〇〇〇	二、二、八、四、二、〇〇〇	一、三、九、二、〇、〇〇〇	四、四、一、一、四、四〇〇	二、三、四、一、〇、四〇〇	一、六、〇、〇、四、〇〇〇	七、三、三、二、四〇	四、五、六、八、四〇	二、七、八、四、〇〇
三、六、九、七	一、一、三、二、二、九、六〇	七、六、九、八、〇〇〇	四、四、三、一、六〇	一、四、五、五、五、五三	九、三、三、七、六〇	五、三、三、七、九二	二、四、二、五、九二	一、五、三、九、六〇	八、八、六、三、二
三、八、五、二二	二、二、四、七、一、五、〇〇	七、八、四、九、〇〇〇	四、六、三、三、五、〇〇	一、四、九、六、五、六、二四	九、四、一、八、八、〇〇	五、五、四、七、〇、二四	二、四、九、四、三、〇四	一、五、六、九、八、〇〇	九、一、四、五、〇、四
三、三、七、九一	一、一、一、七、八、九、二〇〇	七、〇、四、四、〇、〇〇〇	四、一、三、四、九、二〇〇	一、三、五、三、七、七〇四	八、四、五、一、〇、〇〇〇	五、〇、八、一、九、〇四	二、二、五、五、七、八〇	一、四、〇、八、八、〇〇	八、四、六、九、八〇
二、〇、三、三、七	六、四、四、五、四、四〇〇	三、九、九、八、一、〇〇〇	二、四、二、七、六、四〇〇	七、七、七、〇、三、五八	四、七、七、七、七、六〇	二、九、二、二、六、八八	一、二、八、五、〇、八八	七、九、九、六、四〇	四、八、五、四、四、八
三、八、四、一	一、一、三、三、五、七、七〇〇	七、六、四、八、〇〇〇	四、六、〇、九、九、〇	一、四、七、〇、八、六四	九、一、七、七、七、六〇	五、五、三、一、〇、四	二、四、一、四、一、四四	一、五、二、九、六〇	九、三、一、八、四
二、六、二、一〇〇	九、〇、八、四、九、〇〇〇	五、六、八、七、七、〇〇〇	三、三、九、七、一、〇〇〇	一、〇、九、〇、一、八、五〇	六、八、二、五、一、四〇〇	四、〇、七、六、六、四〇〇	一、八、一、六、九、七、九六	二、一、三、七、五、四〇〇	六、七、九、四、三、九六

白六人及六十歳以上ノ男女計九万三百四十六人合計四十三万二千二百五十二人
 男女計五十六万七千四百八十五人ハ全ク强健ノ者ト看做シ之ヲ現在ノ力役者
 金貳拾銭女ハ同金拾貳銭宛ノ賃金ヲ得ルモノトシ之ヲ十時間ニ除スレハ則男
 十ノ力役者尙ホ此上力行時間ヲ毎日朝暮ニテ二時間宛ヲ増スルハ男ハ日
 壹万八千百六拾九圓七拾九銭六厘ノ巨額ヲ致スヘキナリ以爲ク儲蓄ノ事ハ唱
 テ無キモノトシテ積ミ置クヨウニシナハ謂ユル塵モ積レハ山トナルノ諺ノ如
 該表ノ何タルヲ諒セ

埼玉縣勸業課編纂者識

大 湖 間 費

縣 別	湖 名	湖 長	湖 金	高 壘	入 間	蔭 地	淋 風 立
蘇 州	合 人 員	二 四 八 三	六 四 六 一 五	三 五 四 四 三	一 六 六 一 〇	二 二 四 二 六	一 六 二 五 五 三
	民	六 二 八 三	三 三 二 一 五	一 六 六 四 二	六 二 六 八 八	二 〇 五 八 〇	八 〇 〇 二 四
	文	六 一 五 六	三 二 五 六 四	二 〇 〇 〇	六 五 六 二 二	二 〇 八 三 五	八 二 五 七 五
	合 人 員	一 〇 五 一	正 數 八 八	四 〇 五 五	一 一 六 五 〇	三 五 四 四	一 四 五 三 二
太 湖	民	五 三	二 五 三	二 〇 〇	六 五 六 四	八 五 六	六 六 六 四
	文	五 三 五	二 五 三	二 〇 〇	六 五 六 四	八 五 六	六 六 六 四
	合 人 員	一 〇 五 一	正 數 八 八	四 〇 五 五	一 一 六 五 〇	三 五 四 四	一 四 五 三 二
	民	五 三	二 五 三	二 〇 〇	六 五 六 四	八 五 六	六 六 六 四



